



モグくんの クイズコーナー

問題

日本電信電話公社が民営化されて、
NTTが発足したのは西暦何年でしょうか？

- ① 1952年
- ② 1985年
- ③ 1999年



応募方法

クイズの答えと今号の感想、あなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号を記載して、はがき・FAX・Eメールいずれかの方法で応募してください。

[令和5年1月31日必着]

正解者の中から、抽選で5名の方にマナカチャージ券1,000円分をプレゼントします。(当選者の発表は発送に替えさせていただきます)

※応募は同一住所一通に限らせていただきます。

※取得した個人情報は問い合わせの回答、内容の確認及び発送事務のみに使用し、
その他の目的では使用しません。

応募先

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 名古屋市道路占用調整協議会
FAX(052)972-4167
メールアドレス a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会とは？

名古屋市道路占用調整協議会とは、名古屋市内の道路工事の時期などを関係者間で調整することで、無駄な掘り返し工事をなくし、道路工事の縮減、工事期間の短縮や効率化に努める機関です。

また、道路や道路工事に対する理解を深めていたくために広報誌「ディガー」を定期的に発行しています。

名古屋市道路占用調整協議会は、名古屋市緑政土木局、国土交通省、愛知県警察本部、名古屋高速道路公社、名古屋市上下水道局、名古屋市交通局、西日本電信電話株式会社、中部電力パワーグリッド株式会社、東邦ガスネットワーク株式会社、東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社などで構成しています。

下記ウェブサイトより、ディガーのバックナンバーもご覧いただけます。

編集後記

第44号のクイズの正解は
③100でした。

53名のご応募をいただき、
抽選で5名の方にマナカチャージ券をお送りしました。
今回も貴重なご意見やご質問等が寄せられました。

今後の紙面に反映していく
たいと思います。

クイズの回答とあわせて皆様からのたくさんのご意見
やご質問をお待ちしております。

**次号は
令和5年3月1日
発行予定です。
お楽しみに!!**

ディガー

NO.
45

令和4年11月1日発行 編集・発行：名古屋市道路占用調整協議会

TEL(052)972-2851 FAX(052)972-4167 メールアドレス a2841@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

名古屋市道路占用調整協議会ニュース

ディガー

マナカチャージ券
が当たる
クイズ付き!



2022
November
NO. 45

「モグくん」が動画で工事現場の案内をします!!

～「夏休み親子見学会」は中止になりましたが、代わりに…～

名古屋市道路占用調整協議会

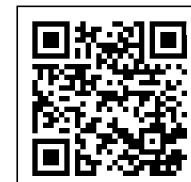
名古屋市道路占用調整協議会では、道路に関する知識や理解を深めて頂くため、工事現場や施設などを見学して頂く「夏休み親子見学会」を例年開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年も見学会を開催することが出来ませんでした。

現場を直接見てもらうことはできませんでしたが、その代わりに名古屋市内で行われている色々な工事現場を当協議会のWEBサイトを通じて紹介させて頂きます。

当協議会では、道路の役割や道路工事に対する理解を深めて頂けるよう、これからも積極的な広報活動に努めています。



僕「モグくん」が動画で
工事現場の案内をするよ。
ぜひ一度見てね!!



【ウェブサイト】<https://www.nagoya-dourokouji.jp>

名古屋市道路占用調整協議会

ガス導管・舗装工事の安全パトロールについて

ガス管理設・撤去工事、舗装工事は道路上で実施されるため、現場作業員の安全対策に加え、通行する歩行者・自動車、また近隣住民の方に向けた安全対策を万全に講じる必要があります。東邦ガスネットワークでは、定期的なパトロールにより、法令・社内基準に沿った安全対策が現場で実施されているか日々確認しています。

点検項目は、ガス管理設・撤去工事では、主にバリケード等の安全施設設置状況、掘削機等の重機誘導状況、舗装工事では、主に施工後の路面の凹凸等を確認しています。

現場パトロール実施状況▶



ドローンを活用した送電線の点検について

中部電力パワーグリッドでは、(株)センシンロボティクスとの共同研究にて開発したドローン自動飛行技術を活用した「POWER GRID Check」でドローンによる送電線設備の自動飛行点検を実現しました。

昇塔点検の例



送電線点検 (故障巡視など)



設備との安全な離隔距離を確保したうえで、自動飛行により均一なデータ取得を行い、ドローンに関する特別な知識を持たない作業員でも簡単に送電線点検業務を実施することが可能になりました。



情報通信の歴史について

1952年以降、電話が普及・拡充し、情報を伝えるために、様々な技術を習得・開発・発展させてきました。



西暦	世の中の動き	通信サービス・デバイス	情報通信の歴史
1980年	1986 バブル期突入 1987 国鉄民営化	●音声  黒電話	1952 日本電信電話公社発足 1985 NTT発足(民営化)
1990年	1991 バブル崩壊 1995 阪神淡路大震災	●テキスト ●音声  デスクトップPC PHS	1999 NTT再編 光時代・ユビキタス社会の幕開け
2000年	2001 同時多発テロ 2003 郵政公社化 2005 道路公団民営化 愛知万博 2007 郵政民営化	●画像 ●テキスト ●音声  ノートPC 携帯電話	2000 e-Japan戦略 2004 u-Japan構想 2009 ICT維新ビジョン
2010年～ 2022年	2011 東日本大震災 2016 熊本地震 2020 新型コロナウイルス 日本最初の感染者確認	●SNS ●動画 ●画像 ●テキスト ●音声  スマートフォン ※テレワーク時代	2010 「光の道」構想 2014 スマートジャパンICT戦略 2022 NTTグループリモートワークを基本とする働き方の導入(リモートスタンダード)

情報板の見方をご存じですか?



名古屋高速の利用をご判断いただくため、名古屋高速の入口手前に入口情報板を設置し、リアルタイムでの交通状況等を提供しております。

下記の画像の表示は、名古屋高速16号一宮線「西春入口」付近から「一宮IC」付近まで3km渋滞しており、渋滞区間を通過するのに15分かかる事を表しています。

渋滞状況のほかにも、事故、落下物、工事規制、気象状況等、安全走行にかかる情報の提供を行っていますので、名古屋高速をご利用の際には、入口情報板をご確認いただきますようお願いいたします。

